

11月14日は、世界糖尿病デー！

医師・歯科医師の皆様へ

糖尿病連携手帳を 活用していますか？



林糖尿病内科
クリニック
林 先生

糖尿病は様々な合併症を引き起こす病気であり、治療に関わっているかかりつけ医、専門医、眼科医師、歯科医師、看護師、薬剤師、栄養士などの多職種が情報を共有し、連携して治療に介入することが重要です。このチーム医療を行うための診療支援に活用できるのがこの手帳です。

患者さんの基本情報、検査結果のほか、日本糖尿病学会が推奨する血糖コントロール目標、糖尿病の代表的な合併症の概要と予防のポイントも簡単に載っていますので、医療者側から患者さんへの説明、啓蒙に、また患者さんの自己管理にも利用できます。



荒井歯科医院
荒井先生

歯周病治療が糖尿病に影響することは、多くの証明がなされています。観血処置で血糖値の変動も報告されています。

安全安心のために糖尿病連携手帳をチェック！



桜道薬局 森川先生

糖尿病連携手帳を使うと、薬局ではその方の症状に合わせた丁寧な説明ができます。

薬局でも糖尿病連携手帳を出して下さるよう、患者さんに、お声かけください！



あらまき眼科
荒巻先生

眼科医にとって、糖尿病連携手帳は治療に関わる医療従事者と患者情報を共有でき、眼科の情報を内科治療に役立てていただけるツールとしても有用です。簡便に記入できるので、ご活用ください！

～ 糖尿病連携手帳の入手について ～

糖尿病連携手帳は、(公社)日本糖尿病協会が発行しています。日本糖尿病協会事務局に連絡し、糖尿病連携手帳協賛企業を紹介していただくことで、無料で入手することができます。

日本糖尿病協会事務局 電話 03-3514-1721 E-mail office@nittokyo.or.jp